

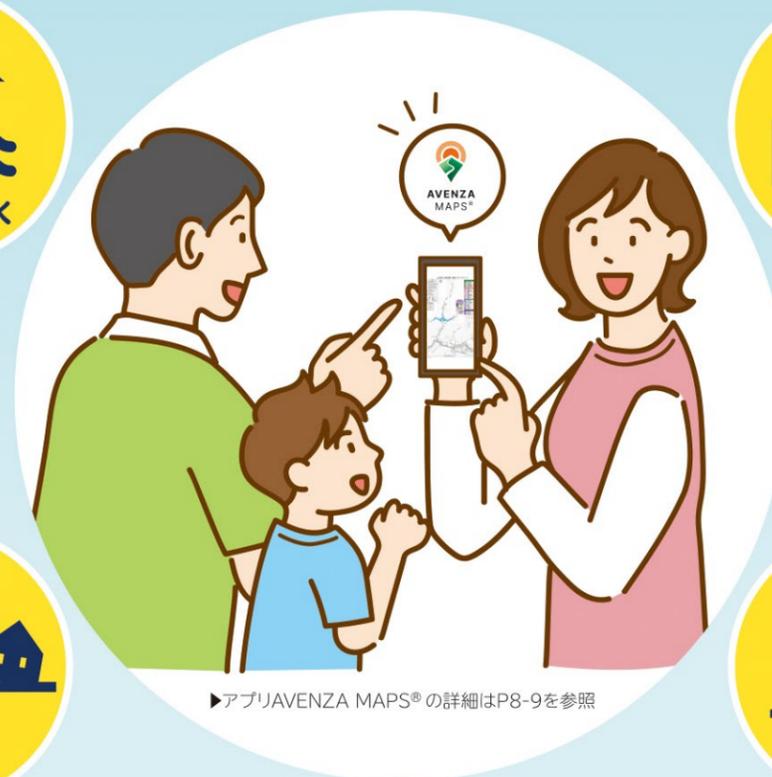
家族の 連絡先	氏名	電話(自宅・携帯)	住所	メモ	

家族の 救急メモ	氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病歴	

親戚知人の 連絡先	氏名	電話(自宅・携帯)	住所	メモ	

緊急連絡先	連絡先	電話	連絡先	電話	

防災ハンドブック



▶アプリAVENZA MAPS®の詳細はP8-9を参照



私たちが住む山北町は、北に丹沢山系を、西に富士山を望み、南に酒匂川がきらめく自然豊かで風光明媚な地域ですが、ひとたび大雨が降れば、洪水や土砂崩れを警戒すべき場所もあります。

また、近年警戒されている「南海トラフ地震」や「相模トラフ地震」についても、警戒すべき地域に含まれており、過去には関東大震災や富士山の宝永大噴火などの被害、昭和47年には箒沢地区を中心に大雨災害などに見舞われています。

このように山北町はたびたび大きな自然災害に見舞われていますが、その都度、ここに住んだ先人たちは、毅然として困難を乗り越え、現代の私たちに緑あふれる豊かな「山北町」をつないでくださいました。

先人の思いを受け継ぎながら、災害に備え、家族を守り、地域を守り、未来の人々に更に豊かで安全な山北町をつなぐのは、今を生きる私たちの使命です。できることから順番に、災害へ備えましょう。

この防災ハンドブックでは、東日本大震災や能登半島地震など、最近の災害対応状況を踏まえながら、山北町の特徴を捉えたうえで、災害の種類に応じた準備事項や初期対応または避難行動など、災害への備えのポイントをわかりやすくまとめたものです。

皆様におかれましては、家族・地域の皆様でそれぞれの災害特性を踏まえながら、防災対策の参考としてご活用いただければ幸いです。



令和7年3月
山北町長
湯川 裕司

目次

- 災害に備える 1
- 山北町の過去の災害 2
- 台風・大雨に備えて 3
- 台風・大雨のポイント 4
- 5段階の警戒レベル 5
- わが家の『マイ・タイムライン』 6-7
- 土砂災害・洪水ハザードマップを持ち歩こう！ 8-9
- 地震発生時の行動 10
- 屋内外の災害対策 11
- 南海トラフ地震臨時情報と災害対応の流れ 12
- 地震発生後の行動 13
- 地震火災を防ぐための知識と準備 14
- 避難の考え方 15
- 火山災害に備えて 16
- 富士山ハザードマップ 17
- 災害情報を入手するには 18
- 覚えておきたい応急救護 19
- 自主防災活動に参加しよう 20
- 要配慮者を支援しよう 21
- 避難行動要支援者支援ガイド 22-23
- 避難所生活・車中泊避難 24
- ペット同行避難 25
- いつも備えておくもの 26-27
- 要配慮者施設・医療機関・防災関係機関 28-29

災害に備える

わたしたちが住む山北町の災害の特性を知り、個人・地域・町が一体となって災害への備えを準備して、必ず未来へつなげましょう。



① 家族で話し合う

● お住まいの地域の被害想定を確認し、「災害時の家族の行動」を約束しましょう

大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、土砂災害による危険があるか、ハザードマップで確認しましょう。

災害が迫っている、または発生したときに、「どのように行動する」、「誰に連絡する」、「どこで合流する」など、「災害時の家族の行動」を約束しましょう。

注意 被害想定がない地域においても、万一に備えて確認しておきましょう。



② 普段から備える

● 想定される災害に応じて、命を守る行動は変わります

地震や風水害・火災・火山災害など、災害の種類や住んでいる場所、タイミングなどに応じて、とるべき行動は変化します。

今いる場所や場面（自宅、通勤の途中、職場、買い物中など）に応じて適切な命を守る行動ができるように「災害時の自分の行動」をイメージしましょう。

防災ハンドブックやハザードマップ[Avenza Maps]を持って、避難経路や危険な場所をしっかりと理解しておく、より効果的です。

また、もしものために、ライト、予備の電池、ばんそうこうなどの「持ち歩き防災品」、水や食料など長期に備えた備蓄品なども準備しておきましょう。



③ みんなで助け合う

● 防災訓練などに参加して、助け合い「共助」の必要性を確認しましょう

町や各自主防災会（自治会）が実施する防災訓練に参加して「災害時の地域の行動」を確認しましょう。

防災訓練を通じて、災害発生時の避難行動や助け合いのための約束事を確認できます。顔が見える関係になれば、災害が迫る場面では、避難行動の声掛けや避難支援にもつながります。

消防・警察・自衛隊などの救助部隊でも、大規模地震などの場合に即時に全ての地域に到達することは困難です。一方、救助を要するけが人などが発生した場合には、一刻も早い救出や保護が必要です。

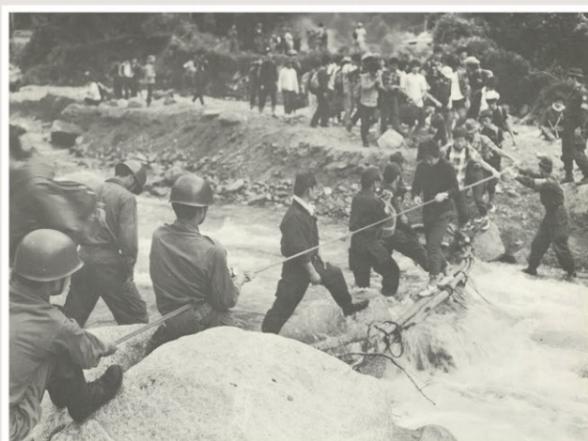
救急車や救助部隊などが到着するまでの間は、可能なあらゆる手段を尽くして、地域で協力して助け合いましょう。



昭和47年7月12日、当町の共和・清水・三保の山間部を襲った「47・7豪雨」は清水・三保地区で死者6名・行方不明者3名、人家・道路網などに激甚な被害をもたらし、12日午後4時に災害救助法が適用されました。



▲被災直後の箒沢集落



▲県警・自衛隊員による救出活動



▲橋が流失した御殿場線「第3酒匂川鉄橋」

土砂災害のおそれがある区域

町では、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づいて神奈川県が指定した土砂災害警戒区域を示した「土砂災害ハザードマップ」を作成しています。自宅およびその周辺が、立退き避難が必要な土砂災害のおそれがある区域か確認しましょう。

土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域として指定されます。

● 区域指定について

問い合わせ：神奈川県西土木事務所
☎0465-83-5111

土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域として指定されます。

この区域では、開発行為の制限、建築物の構造規制や移転勧告などが行われます。
※レッドゾーンはイエローゾーンの中に含まれます。

▶ 予兆現象に気づいたら… (←ただし、こうなる前に避難することが基本です。)

近所の人に声をかけながら、早急に安全な場所に避難してください。

より多くの人に危険を知らせるため、町役場や関係機関に情報提供をしてください。

山北町役場: ☎0465-75-1122



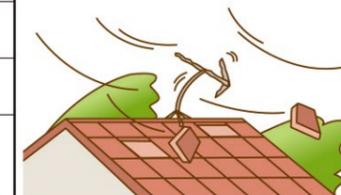
何よりも早めの避難を!!

土砂災害は、大きな破壊力で一気に襲ってくるため、人命に関わるとも恐ろしい災害です。土砂災害は豪雨や地震によって突発的に発生します。いつ、どこで、どの程度の規模で発生するのか、正確に予測することはできません。今まで崩れたことが無い場所でも安心できません。がけ崩れや土石流はあっという間のスピードで襲ってきます。気づいてから逃げることはとても困難です。

風水害は、事前にある程度予測できるとはいえ、台風などがもたらす大雨・強風の威力は計りしれません。また台風が過ぎ去ったとしても河川の増水・氾濫のおそれがあります。テレビ・ラジオなどの気象情報に十分注意し、万全の対策をとるようにしましょう。

注意報・警報・特別警報

種類	発表の時期
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるとき。重大な災害が発生するおそれが著しく高まっているとき。
暴風特別警報	数十年に一度の強度の台風・温帯低気圧による暴風が予想されるとき。
記録的短時間大雨情報	1時間雨量 100mm の猛烈な雨を観測したとき。
土砂災害警戒情報	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
洪水警報	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
暴風警報	暴風によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
洪水注意報	河川の増水によって災害が起こるおそれのあるとき。
強風注意報	強風により災害が起こるおそれのあるとき。
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風が発生しやすい気象状況になったとき。



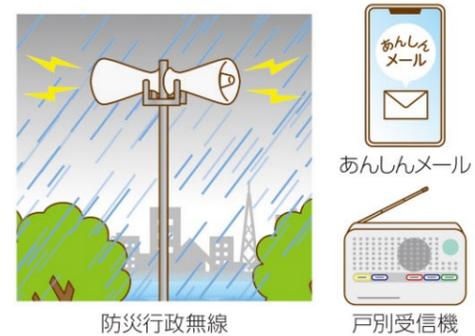
雨の降り方と注意報・警報の関係(目安)

発表目安	記録的短時間大雨情報				
	大雨注意報			大雨警報	大雨特別警報
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
雨の降り方 人の受けるダメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘はまったく役に立たなくなる		
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない			寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っているとき	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

台風・大雨のポイント

台風・大雨は危険な状態になる前に、避難を完了

災害から命を守る最も確実な方法は「災害にあわないようにする」すなわち「早めの避難」です。災害発生のおそれが高まった場合、町では避難指示などの情報を発令し、防災行政無線やあんしんメールなどでお知らせします。しかし、避難指示などの情報は、すべての世帯にとって必ずしも最適な避難のタイミングであるとは限りません。各世帯における家族構成、自宅建物の高さや丈夫さ、周辺の状況、そのときの降雨や浸水状況などから判断して、危険を感じた場合は、避難指示などの情報が出されるよりも前に自主的な避難行動をとることが重要です。



- Point① 夜間の避難が予想される場合などは、早め早めの行動を取りましょう！
- Point② 自宅などが安全な場所（土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っていない場所）にある場合は、避難所に行く必要はありません

避難に対する基本的な考え方

● 避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれたその状況は一人ひとり違います。周りの人が避難していないから、自分も避難しなくても大丈夫だと思ってしまうのは危険です。それぞれが自ら判断し、適切な行動を取らなければなりません。避難所の駐車場には限りがあるため、町避難所への車による避難は、障がい者や高齢者など「避難行動要支援者」を優先しましょう。



● 避難のしかた (要領)

- 特別な場合を除き、健常者は徒歩での避難を心がけてください。
- 避難に時間がかかる避難行動要支援者（高齢者・妊産婦・障がい者）は、支援いただける方と一緒に車などで早めに避難してください。（22ページ参照）

例えば 大雨等の時は、ハザードマップを確認して、次に該当する場合は早めに避難しましょう。

- 土砂災害警戒区域内に住んでいる
- 浸水想定区域内に住んでいる

→ **とにかく早い段階での避難開始を心がけてください**

● 自主避難のすすめ

避難情報が夜間に発令される場合もあります。雨が強くなる前に浸水が予想されていない地域の知人宅や親せき宅などに自主的に避難する「自主避難」が有効です。



5段階の警戒レベル

気象庁等の情報は、自主的な避難行動の参考となる情報です。

レベル4で
全員避難

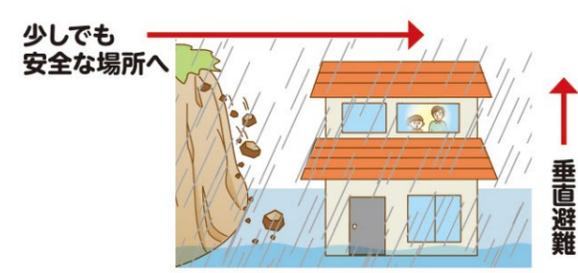


警戒レベル	1	2	3	4	5
とるべき行動	心の備えを高める	避難行動の確認	危険な場所から高齢者等は避難 他の住民は準備	危険な場所から 全員避難	命を守る最善の行動
町が発令			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保 ※必ず発令されるものではありません
気象庁等の情報	早期注意情報	大雨注意報 洪水注意報	警報の可能性(高) 注意報	大雨警報洪水警報	記録的短時間大雨情報
キキクル		注意 (注意報級)	警戒 (警報級)	危険	災害切迫

レベル4までには必ず避難！

● 命を守る最大限の行動を

急激な雷雨で外に出るのが既に危険な状況の場合は、今いる場所やその付近での安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難所への移動だけでなく、屋外への避難が危険だと判断したら自宅や近隣の頑丈な建物の2階へ垂直避難し、救助を待つことも検討してください。



- 例えば
- 町から「緊急安全確保」が発令された場合
 - 就寝している間に急激な降雨ですでに逃げ遅れてしまった場合
 - すでに浸水深がひざ上（50センチ）以上に達している場合
 - 避難経路上の流水で足を取られて転倒の危険がある場合
 - 増水で用水路の位置が見えない場合

→ **屋外での移動は危険です**

わが家の『マイ・タイムライン』

目 安	数日～約1日前	半日～数時間前	数時間前～2時間程度前	0時間	
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示 警戒レベル4までに必ず避難すること!!	緊急安全確保
防災 気象情報	<input type="checkbox"/> 大雨に関する気象情報	● 大雨・洪水注意報	大雨(浸水害)・洪水警報(河川が増水し、洪水となる最大3時間前程度)	大雨特別警報(浸水害)	
	<input type="checkbox"/> 風に関する気象情報	● 強風注意報	暴風警報(暴風となる6～3時間前)	暴風特別警報	
以下は、お住まいの地域によって必要となる情報 必要な情報に◎か○のチェックをいれよう！(ハザードマップで確認できます)					
必要な 情報	<input type="checkbox"/> 河川の氾濫に関する情報	● ○○氾濫注意情報	○○氾濫警戒情報	○○氾濫警戒情報(氾濫となる1時間前程度)	○○氾濫発生情報
	<input type="checkbox"/> ダムの緊急放流に関する情報		● 開始見込み情報 開始3時間前情報	開始1時間前情報 開始情報	
	<input type="checkbox"/> 土砂災害に関する情報		● 大雨(土砂災害)警報	土砂災害警戒情報(土砂災害の危険度が高まる最大2時間前程度)	大雨特別警報(土砂災害)
◎特に必要な情報 ○必要な情報					
私と 家族	<p>*チェック項目を参考にタイムラインを記載しましょう！</p> <p>例) 口家族や避難する相手先(親せき等)に連絡【10分】担当：おかあさん</p> <p><input type="checkbox"/> 家族や避難する相手先(親せき等)に連絡【 分】担当：</p> <p><input type="checkbox"/> 気象情報の確認【 分】担当：</p> <p><input type="checkbox"/> 避難場所の開設状況や避難経路の確認【 分】担当：</p> <p><input type="checkbox"/> 家周りの点検、窓ガラスの補強【 分】担当：</p> <p><input type="checkbox"/> 貴重品や非常持出品、備蓄品の確認【 分】担当：</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯電話やモバイルバッテリーの充電【 分】担当：</p> <p>〈その他必要なもの〉</p> <p>例) おばあちゃんが、おじいちゃんと孫たちの常備菜を準備【15分】</p> <p>【 分】担当：</p> <p>避難準備に必要な時間【 分】</p>		<p>*それぞれが避難にかかる時間を記載しましょう！</p> <p>例)</p> <p>おじいちゃん おばあちゃん 子供(兄)</p> <p>避難開始 避難にかかる時間【約20分】</p> <p>避難完了</p> <p>お父さん お母さん 子供(姉)</p> <p>避難開始 避難にかかる時間【約15分】</p> <p>避難完了</p>		避難先
行動	<p>《手順1》 □以外で するものを 記載</p> <p>《手順2》 □以外で 他に必要な ものがあれば 記載</p>		<p>二次元コードからダウンロードして、 わが家の「マイ・タイムライン」を作成して風水害に備えましょう。</p> <p>● スマホで「マイ・タイムライン」 を作成してみよう！(神奈川県)</p> <p>● マイ・タイムラインシートを 作成してみよう(神奈川県)</p>		例) ○○小学校
地域	<p>例) おばあちゃんが近所のお友達へ避難の呼びかけ【15分】</p>				

災害発生



スマホアプリ(Avenza Maps)で防災マップを持ち歩きませんか。

山北町では、土砂災害・洪水ハザードマップを作成し公開しています。外出時に被災したとき、オフラインで最寄りの避難所などを探すことができます。この機会に土砂災害・洪水ハザードマップをご自身の端末に入れて持ち歩いてみませんか？



無料アプリ (Avenza Maps) を使ってスマホやタブレットで閲覧できます！

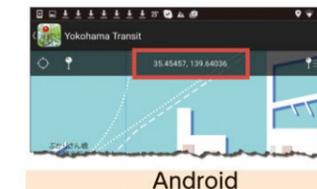
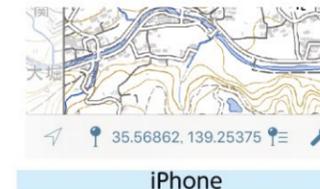
Avenza Mapsは世界中のフリーマップがダウンロードできるアプリで、スマホやタブレット上で土砂災害・洪水ハザードマップを閲覧できると同時に、現在地の特定や歩いた軌跡などを記憶するツールとして活用できます。また、通話回線の通じない山の中でもGPS機能を使って簡単に自分の位置を地図上で見ることができ、行きたい場所をあらかじめ地図上に落

としてから出かけたり、覚えておきたい場所を写真付きで地図に落とすこともできます。アプリはAvenza Mapsで検索するか、下の二次元コードからダウンロード可能です。マップはアプリ内の地図の追加から、下の二次元コードを読み取るか、ストアから「山北町」と検索することでダウンロード可能です。

便利な機能がたくさんあります！

1 誰かに今いる場所を教える

現在地(座標値)を取得し、メールで送信できます。*高い建物、山などの障害物がある場合は位置情報を正確に取得できない場合があります。



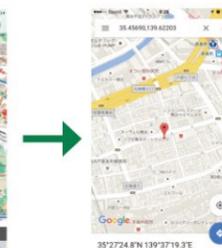
2 今いる場所を記録する

「地図マーカー」を追加して、タイトル、説明、写真を記録できます。*高い建物、山などの障害物がある場合は位置情報を正確に取得できない場合があります。



3 目的地までの道を知る

他の地図アプリと連携して、経路検索が可能です。



アプリと地図をスマホやタブレットにインストールしてみましょう！

アプリのインストール

- 1 カメラを起動し下の二次元コードを読み取る。
- 2 アプリをインストールする。



- 1 Avenza Mapsを起動する。
*サインインが表示されますが、スキップできます。「スキップ」をタッチしてください。
- 2 上部にあるマーク(ダウンロード)をタッチします。



地図のインストール

- 3 画面上部にあるマーク(二次元コード読み取り)をタッチします



- 4 「Avenza Mapsがカメラへのアクセスを求めています」でOKをタッチします。
- 5 カメラが起動しますので、ダウンロードする地図の二次元コードを読み取ります。
- 6 無料をタッチするとダウンロードが始まります。
- 7 「地図を開く」が表示されたらダウンロード完了です。
*ダウンロードした地図の範囲外にいる場合、現在地は表示されません。



山北町の地図

アプリのインストール

- 1 カメラを起動し下の二次元コードを読み取る。
- 2 アプリをインストールする。



- 1 Avenza Mapsを起動する。
*サインインが表示されますが、スキップできます。「スキップ」をタッチしてください。
- 2 下部にあるマーク(新規作成)をタッチします。



地図のインストール

- 3 画面下部にあるマーク(地図ポート)をタッチします。
- 4 画面上部にあるマーク(二次元コード読み取り)をタッチします。



- 5 「写真と動画の撮影をAvenza Mapsに許可しますか？」でアプリの使用時のみをタッチします。
- 6 カメラが起動しますので、ダウンロードする地図の二次元コードを読み取ります。
- 7 無料をタッチするとダウンロードが始まります。
- 8 「地図を開く」が表示されたらダウンロード完了です。
*ダウンロードした地図の範囲外にいる場合、現在地は表示されません。



山北町の地図

地震発生時の行動

安全確保行動1-2-3 (シェイクアウト)

- ①まず姿勢を低く!
- ②頭を守る!
- ③動かない!



安全確保行動1-2-3は地震発生時に身を守る方法として、とても重要で簡単な方法です。周囲の状況に応じて、慌てずに身の安全を確保しましょう。

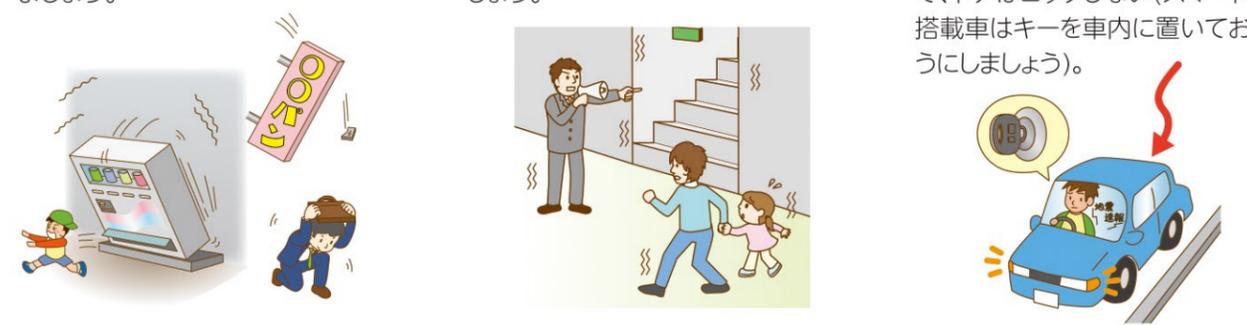
家の中で大きな揺れを感じたら

- **まずは身の安全を守る**
地震が起きたら、まず第一に身の安全を確保しましょう。ある程度揺れがおさまってから、次の行動に移りましょう。
- **揺れがおさまってから、消火を確認**
揺れがおさまったらガス器具やストーブなどの消火を確認しましょう。出火しても天井に燃え移る前なら慌てず消火器等で初期消火に努めましょう。通電火災を防ぐため、避難前に電気ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。
- **戸を開けて出口を確保**
マンションなどの中高層住宅では出口の確保が重要です。逃げ口を失い閉じこめられないようにしましょう。
- **慌てて外に飛び出さない**
家の倒壊の心配があれば外へ逃げましょう。瓦やガラスなどの落下物には十分注意し、お年寄りや子どもとはしっかりと手をつないで避難しましょう。
- **正確な情報を**
すぐにテレビ・ラジオなどにより、報道機関や町からの正確な情報を得るようにし、デマに惑わされないようにしましょう。



外出先で大きな揺れを感じたら

- **屋外にいるときは**
 - 持ち物で頭を守りましょう。
 - 建物から離れ、空き地など安全と思われる場所へ避難しましょう。
 - ブロック塀、自動販売機、ショーウィンドウには近寄らないようにしましょう。
- **スーパーなどの建物の中では**
 - ガラスや陳列棚から離れ、落下物から頭を守りましょう。
 - 非常口や階段に向かうときは、慌てず落ちついて行動しましょう。
 - 場内放送や係員の指示に従いましょう。
- **車を運転しているときは**
 - ハザードランプを点灯させ、徐々に速度を落とし、道の左端に停止させましょう。
 - 緊急車両を優先させましょう。
 - 車を離れるときはキーを付けたままで、ドアはロックしない(スマートキー搭載車はキーを車内に置いておくようにしましょう)。



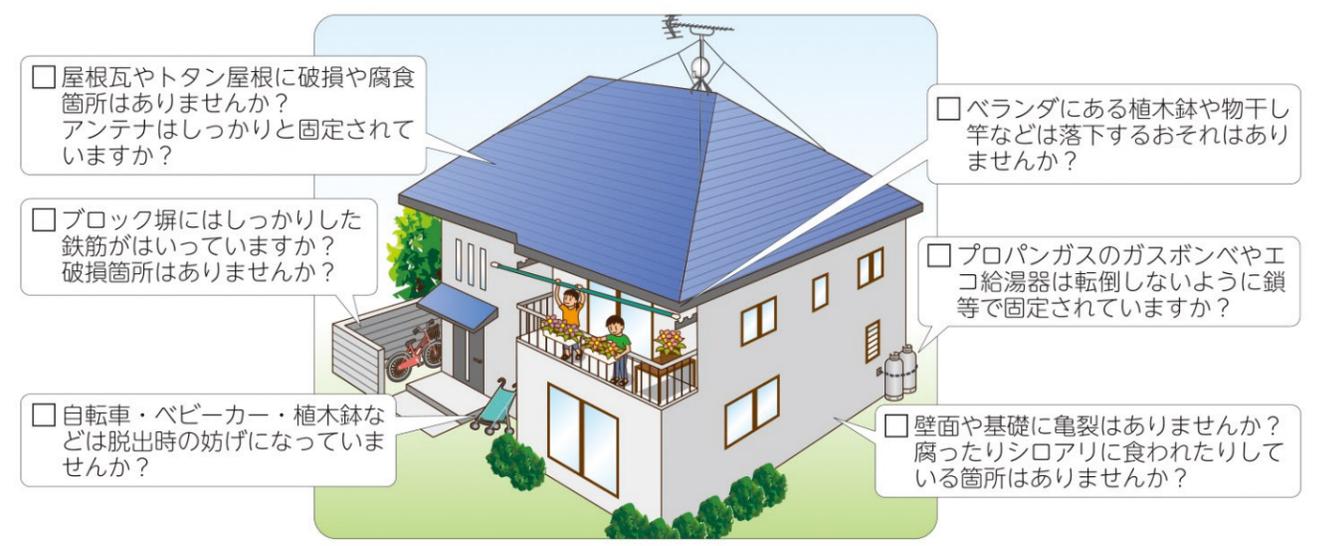
屋内外の災害対策

地震で家具が倒れたり、窓ガラスが割れて飛び散ったりすると、家の中が危険な場所になり、倒れた家具は避難の妨げにもつながります。家具を固定するなど日ごろから地震対策をしておきましょう。また、家の周囲に地震発生時に危険な箇所がないか点検しましょう。古い建物は専門家による耐震診断や耐震補強を検討しましょう。
※町では木造家屋の「耐震診断費補助制度」や「耐震改修工事等補助制度」があります。補助制度に関する詳細は、都市整備課までお問い合わせください。

屋内の安全対策のポイントをチェックしよう



屋外の安全対策のポイントをチェックしよう

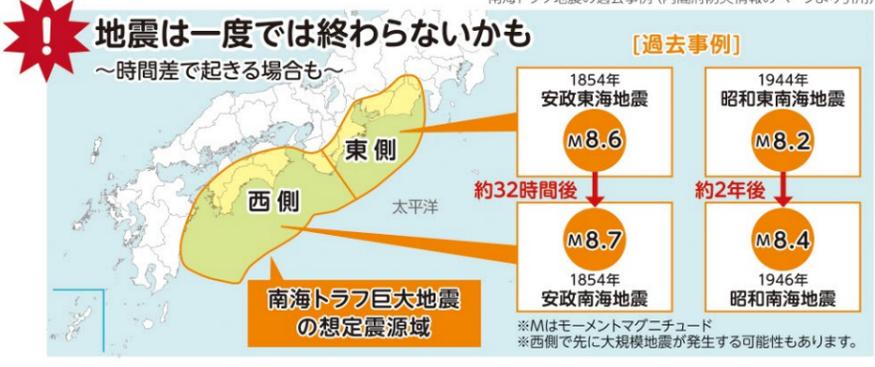


南海トラフ地震臨時情報と災害対応の流れ

「南海トラフ地震」を知りましょう

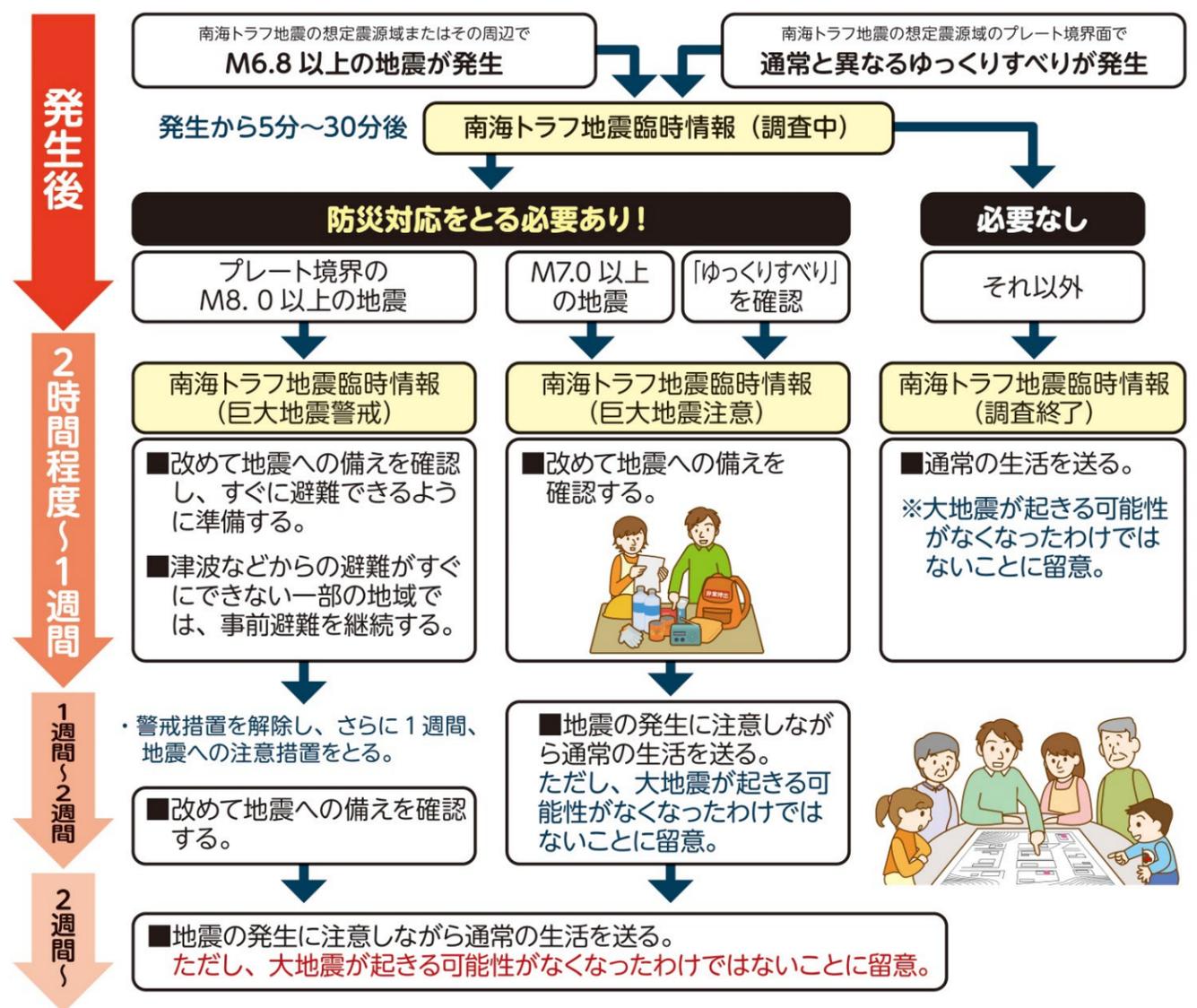
南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、概ね100~150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。
山北町は「震度6弱」以上の揺れが予想され、「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。

南海トラフ地震の過去事例（内閣府防災情報のページより引用）



最大震度 (神奈川県西部)	6弱	
建物被害 (棟)	全壊棟数	10未満
	半壊棟数	90
死者・重傷者 (人)	0	
軽傷者 (人)	10	
避難者数 (要配慮者を含む) (人)	90	
断水人口 (人)	90	

南海トラフ地震臨時情報 (※) と災害対応の流れ (※予知情報ではありません)



地震発生後の行動

大きな地震が発生した際、冷静に対応するのは難しいものですが、一瞬の判断が生死を分けることもあります。いざというとき「あわてず、落ち着いて」行動するために、地震発生時の基本的な対応パターンを覚えておきましょう。

平常時

- 家屋の耐震強化や家具の転倒防止など、自宅の安全を強化しましょう。
- 非常時の行動と連絡方法を家族と確認・約束しましょう。
- 備蓄品やペットの避難用品を準備するとともに、季節ごとに確認・更新しましょう。
- 地域の防災訓練に参加しましょう。

地震発生

- 机やテーブルなどの下へもぐり、身を守りましょう。
- 倒れてくる家具や落下物に注意しましょう。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保しましょう。
- 車はハザードランプを点灯してゆっくり停車しましょう。

1~2分

- 消火を確認し、ガスの元栓を閉めましょう。
- 火元を確認し、出火していたら初期消火しましょう。
- 家族の安全を確認しましょう。
- 靴を履き、ガラスの破片などから足を守りましょう。
- 非常用持出品を手近に用意しましょう。

避難する場合 津波・がけ崩れの危険が予想される地域は身の安全を確認してすぐ避難

3分

- 余震に注意しながら、いったん屋外で、生命の安全を守りましょう。
- 隣近所の安全を確認しましょう。特に、一人暮らしの高齢者など要配慮者がいる世帯には積極的に声をかけ、安否を確認しましょう。
- 火が出たら大声で知らせ、協力して消火につとめましょう。

5分

- テレビ・ラジオなどで災害情報を確認しましょう。
- 救助の通報を優先するために、電話はなるべく使わないようにしましょう。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難しましょう。避難の際、ブロック塀の倒壊やガラスの落下に注意しましょう。
- 避難の際、車は使わないようにしましょう。

5~10分

- 通電火災を防ぐため、電気のブレーカーを落としましょう。

10分~数時間

- 各自治会が定めた要領で「安否確認」を実施しましょう。
- 火災が発生したり、人が閉じ込められている場合は、地域で協力して初期消火・救出活動を行いましょう。あわせて消防署等へ通報しましょう。
- 安否を確認できない場合は、被害にあっている可能性があります。地域で連携して対応しましょう。

~7日くらい

- 災害発生から3日間は人命救助を優先するため外部からの生活物資応援が届かない場合があります。
- 災害情報、被害情報を収集しましょう。
- 自宅が壊れて危険な場合は、避難所へ避難しましょう。
- 自宅が丈夫な場合は、自宅での生活を継続しましょう。
- 大きな地震の後には、余震に注意しましょう。

避難生活では

- 避難所の運営は、自治会を中心として、町と協力しておこないましょう。
- 集団生活のルールを守りましょう。
- 助け合いの心を持ちましょう。

地震火災を防ぐための知識と準備

地震が発生すると、同時に多くの場所で火災が発生するおそれがあります。地震による火災を防ぐためには、まず各家庭から出火させないことが重要です。地震火災に備えて、日ごろからわが家が火元にならないための対策を取っておきましょう。

住宅用火災警報器(住警器)の設置 全ての住宅で設置が義務です

住宅には住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅用火災警報器は交換目安の10年を過ぎると電子部品や電池が寿命を迎え、正常に作動しない場合があるので、定期的に確認しましょう。異常がある場合、電池の接続不良や電池切れ、機器本体の故障が考えられるので、状況に応じて交換しましょう。



ボタンを押すか、紐を引きましょう。

正常な場合

異常がある場合

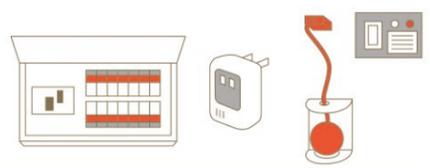
住宅用消火器を設置しましょう。

ご家庭には、「住宅用消火器」を設置しましょう。住宅用消火器には、使用期限が表示されています。期限が過ぎたものは、新しいものと交換しましょう。住宅用消火器は、ホームセンター、防災用品店、インターネット等で購入することができます。悪質な消火器の訪問販売・点検にはご注意ください。



感震ブレーカーを設置しましょう。

一定以上の揺れを感知すると、自動的に電気を止める機器です。自分で取り付け可能なタイプもあります。一斉に電気が止まるので、避難用の照明や生命に直結する医療機器の非常用電源の確保など、停電対策もあわせて取り組みましょう。



時間差が怖い「通電火災」

地震や台風などの災害による停電が復旧して、再び通電することで発生する火災を「通電火災」といいます。復旧が災害から数日後になることもあり、怖いのはその時間差で発見・消火が遅れることです。避難して無人となった家から出火するケースも少なくありません。

通電火災を防ぐためのポイント

- 避難するときは、家を出る前にブレーカーを落とします。
- ブレーカーを戻す前に、電気機器や配線・コードに破損はないかなど、よく確認します。

火元別の消火方法を覚えましょう。

コンロ

- 油が入った鍋に水をかけるのは厳禁。
- 消火器は直接火元に向けて噴射します。
- 消火器がない場合は、シーツなどを濡らして手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断します。

電気器具

コンセントを抜くかブレーカーを切り、消火器で消火します。

ストーブ

- 消火器は直接火元に向けて噴射します。
- 消火器がない場合は、シーツなどを濡らして手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断します。

着衣

着衣に火がついたら「ストップ、ドロップ&ロール」(止まって、倒れて、転がって)。走り回らずその場に止まり、地面に倒れ込み左右に転がって消火します。

避難の考え方

避難所開設の考え方



- 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。
- 避難先は、小・中学校や公共施設だけではありません。自身と自宅の安全が確保できたら、自宅で生活続ける「在宅避難」をしましょう。また、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

大災害時は、町内全体が被災し、地域住民が一斉に避難することが想定されるため、多くの住民が避難できる「小学校・中学校の体育館」を中心に避難所として開設します。

災害の種類によって避難する場所が異なります。



もし富士山が噴火したら？

令和3年3月26日に開催された「第11回富士山火山防災対策協議会」（山梨県・静岡県・神奈川県などで組織）において、富士山ハザードマップが約17年ぶりに改定されました。

これまで、富士山噴火による神奈川県への影響は降灰のみとされておりましたが、この改訂により、神奈川県内7市町（相模原市・小田原市・南足柄市・大井町・松田町・山北町・開成町）に新たに溶岩流が到達する可能性があることが示されました。

溶岩流は、溶けた岩石が地表を流れ下る現象です。ゆっくり流れるため避難が可能とされており、山北町と静岡県との境には噴火から33時間で到達するとされています。

富士山が噴火して溶岩流被害が予想される場合には、山北町は自家用車や町が運行する避難用バスによって避難します。その際は、指定される安全な場所に移動・一時的に集合し、安否を確認したのちに、安全な町外の広域避難所に避難することになります。

富士山が噴火した直後にあっても、慌てることなく、富士山直下の自治体の人たちの避難を優先しながら、まずは避難準備をしましょう。

火山噴火に伴う災害

火山は時として大きな災害を引き起こし、人や建物などに被害をもたらします。神奈川県で特に注意すべき噴火に関する現象をまとめました。

溶岩流

溶岩流とは、火口から流出した溶岩が地表を流れ下る現象で、比較的ゆっくりと流れ、冷えて粘性が増したり、市街地のように勾配が緩い地形では、人がゆっくり歩く程度の速度にまで低下します。避難経路を確認しておき、町の指示に従って避難しましょう。

降灰

降灰は、火山が噴火しマグマなどが細かく砕けて火山灰となって降る現象です。火山灰が直接の原因となって直接人命に影響を及ぼすようなことはありませんが、呼吸器系の障害を引き起こすほか、大量に降り積もると家屋を押しつぶすことがあります。風向きや噴火の規模、火山からの距離によって火山灰の厚さは変わりますが、最大級の噴火の場合、神奈川県内では全域で2cm以上、県西部では30cm以上に達する可能性があります。

降灰後の土石流

降灰により雨水が地面にしみ込みにくくなり、勢いを増した雨水が斜面を削って土砂や岩を取り込み発生する現象が、降灰後土石流です。特に厚さ10cm以上積もる地域では、何回も土石流が起こることがありますので、降雨時は注意が必要です。

降灰時の注意

事前に承知しておくこと

- 火山灰を吸い込まないために高性能のマスクを着けましょう。もし持っていなければ、濡れた布を使いましょう。
- 外出するするときには、目を保護するゴーグルなどを着けましょう。
- 人命救助など必要な場合以外には、自動車を運転しないようにします。特に濡れた火山灰はスリップ事故の原因になります。また、火山灰は自動車の故障の原因にもなります。
- 火山灰は水浸しにすると固い塊になります。清掃が余計に困難になります。屋根上の火山灰が吸水すると、屋根が落ちる危険性が高くなります。
- 火山灰は庭や道端に捨ててはいけません。丈夫な袋に入れて町が定める場所へ集積します。
- 火山灰を排水溝や下水、雨水管に流してはいけません。配水管が詰まって、下水処理施設をいためる可能性があります。

降灰の除去作業をする時は

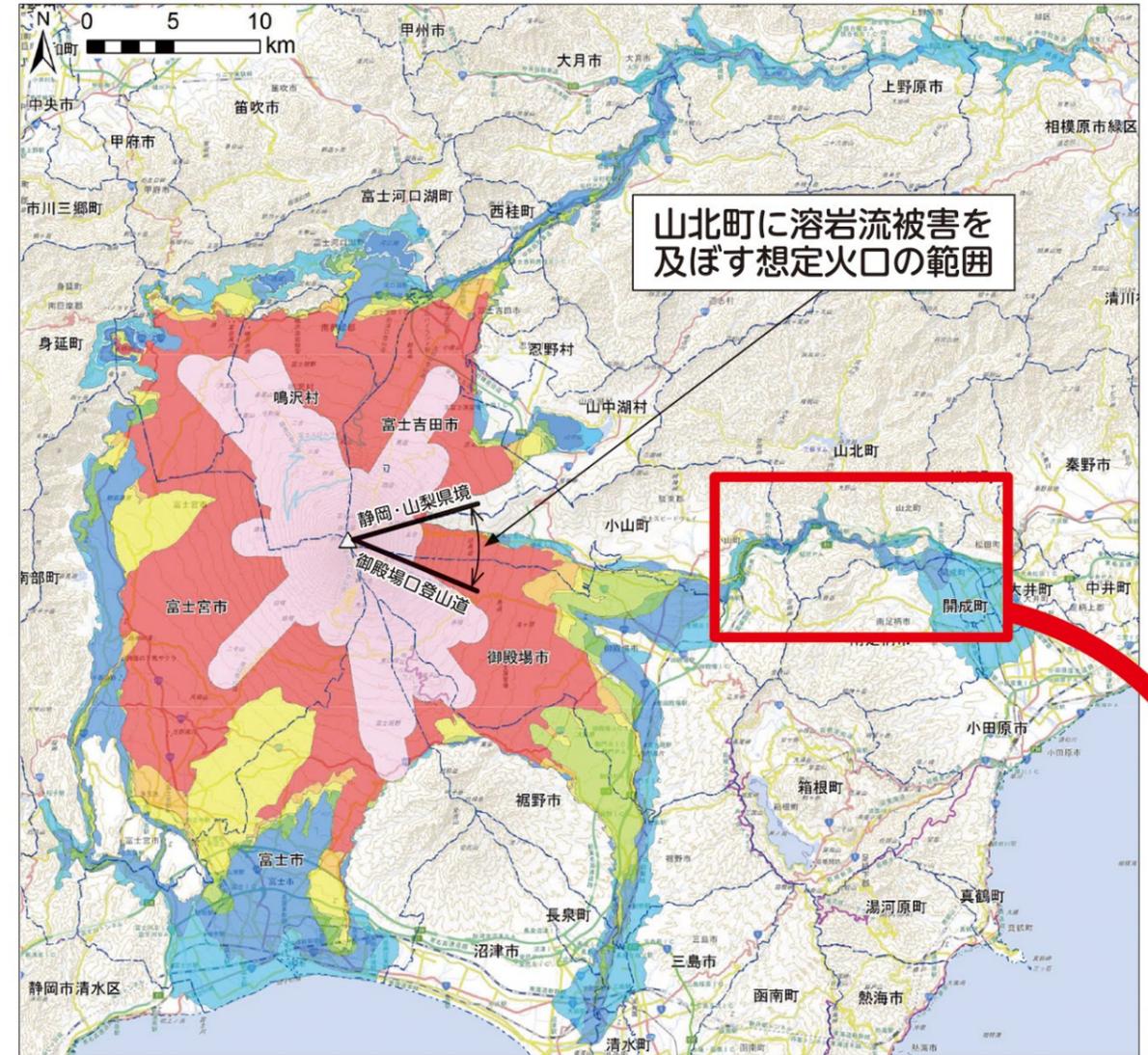
- 火山灰の重さによっては、木造家屋が倒壊するおそれがあります。木造家屋に30cm以上の降灰があったら、無理をせず、避難を考えてください。
- 屋根の清掃をする場合は、火山灰が5センチ以上降り積もる前に行うようにしましょう。放置すると固くなります。
- 火山灰の排除作業を行う場合は、足場の安全を確保するとともに、必ずヘルメット、高性能マスクやゴーグルを装着しましょう。また、命綱を利用しましょう。
- 乾いた火山灰をほうきで掃くと、大量の火山灰が舞い上がります。濡らしすぎないように注意して水をかけ、スコップ等でかきとり、丈夫な袋に入れましょう。
- 屋根上に乗る場合は、荷重がかかります。また、はしごや屋根の上は、火山灰でとても滑りやすくなっているので、特に注意しましょう。



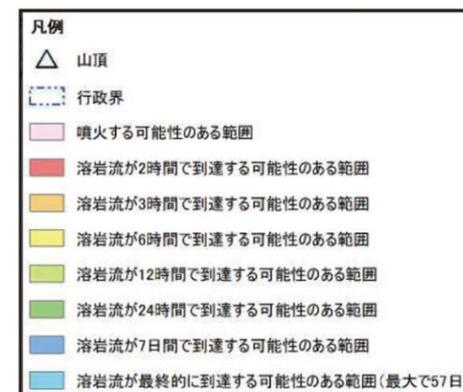
詳しくはこちら



火山ハザードマップは、火山災害のおそれのある範囲を想定し、地図上に視覚的に分かりやすく描画したものです。改定された富士山ハザードマップでは、溶岩流や火砕流のシミュレーション結果を示した「ドリルマップ」が大・中・小規模の噴火に合わせて252パターン作成されました。これらを重ね合わせた「可能性マップ」は、溶岩が流れた場合に到達する可能性のある範囲や最小到達時間を網羅的に示しています。

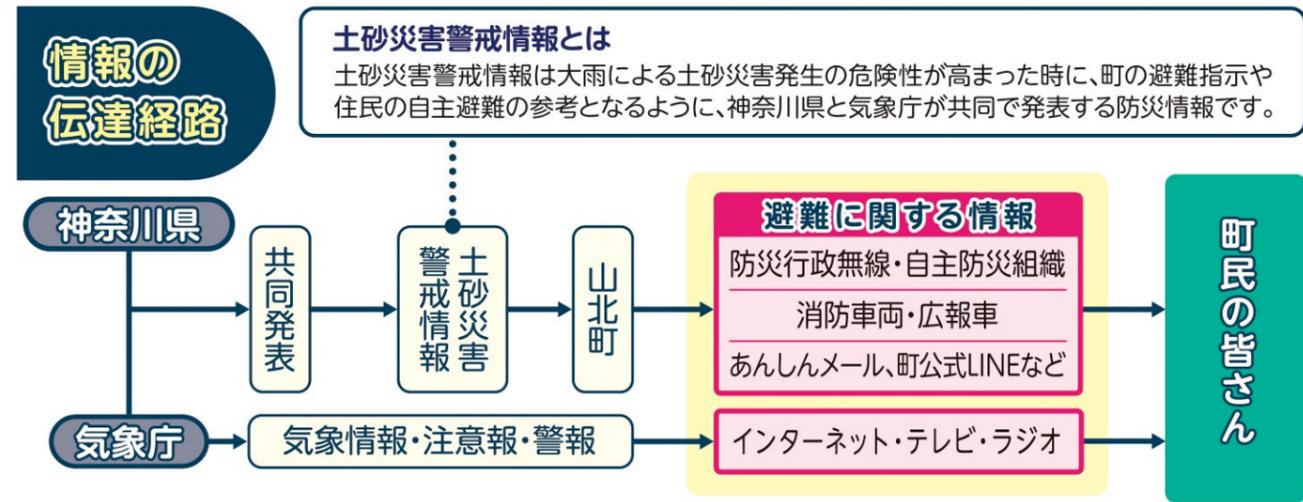


神奈川県版「富士山火山防災マップ」令和5年1月から抜粋



災害情報を入手するには

土砂災害は大雨や集中豪雨によって発生します。積極的に気象情報や土砂災害警戒情報等の防災情報を収集し、早めの避難を心掛けましょう。



<p>気象情報</p> <p>■ 気象庁/横浜気象台 気象警報・注意報 https://www.jma-net.go.jp/yokohama/index.html</p>	<p>山北町あんしんメール</p> <p>下記のアドレスにメールを送ると、災害や防犯情報を受け取ることができる「山北町あんしんメール」に登録することができます。 宛先 cfm@io.dataeast.jp 件名 t-yamakita</p> <p>二次元コードからアドレス情報を入力することもできます。いざという時のためにも、積極的に登録してください。</p>
<p>土砂災害情報</p> <p>■ 神奈川県 土砂災害情報ポータル https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/mobile/</p> <p>■ 気象庁 土砂災害警戒情報 土砂災害警戒判定メッシュ https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/</p>	<p>山北町公式LINE</p> <p>防災や町の施策など、広く町民生活に密着する内容が発信されます。</p>
<p>雨量・水位情報</p> <p>■ 神奈川県 雨量水位情報 https://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/sp/index.html</p> <p>■ 国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/</p>	<p>町の防災情報</p> <ol style="list-style-type: none"> チャンネルを「tvk」に合わせる。 リモコンの①ボタンを押す。 リモコンの緑ボタンを押し「マイタウンページ」へ移動する。 「安全安心情報」から防災情報等を確認する。
<p>災害用伝言ダイヤル</p> <p>171 にダイヤル</p> <p>録音 1 再生 2</p> <p>被災地の方の固定電話及び携帯電話・IP電話の番号をダイヤルしてください。なお、固定電話の番号には市外局番から入力して頂く必要があります。</p> <p>ガイダンスに従い、録音(再生) 録音は1メッセージあたり30秒以内</p> <p>【詳しい利用方法】 https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/</p>	<p>防災行政無線</p> <p>防災行政無線の放送時点から24時間以内であれば、何時何分にもどのような放送がされたかを電話音声で確認することができます。</p> <p>防災行政無線テレホンサービス ☎0465-75-3300 ※通話料金は利用者負担になります</p>

覚えておきたい応急救護

覚えておきたい応急手当のポイント

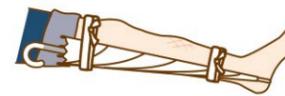
出血

- 出血している部分にガーゼやタオルを当て、その上から手や包帯で強く圧迫します。
- 傷口は心臓より高い位置にします。
- ※感染予防のため、ビニール手袋やビニール袋を使用し、血液が付着しないようにします。



骨折

- 折れた部分に添え木(副木)を当てて固定します。
- 適当な添え木がなければ、板、雑誌、傘、段ボールなど、身近にあるもので代用します。



やけど

- 流水で10分~30分ほど冷やします(患部に直接強い水圧がかからないように注意)。
- 衣服の上からやけどした場合は、無理に脱がさずそのまま冷やします。
- 水疱(水ぶくれ)は破らない。
- 冷やした後は、清潔なガーゼやタオルなどで保護します。



ねんざ

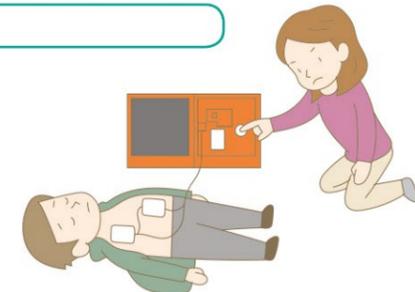
- 患部を冷やします。
- 足首などの場合は、靴を履いたまま、上から三角巾や布で固定します。



心肺蘇生とAED ※成人の場合

倒れている人を見つけたら

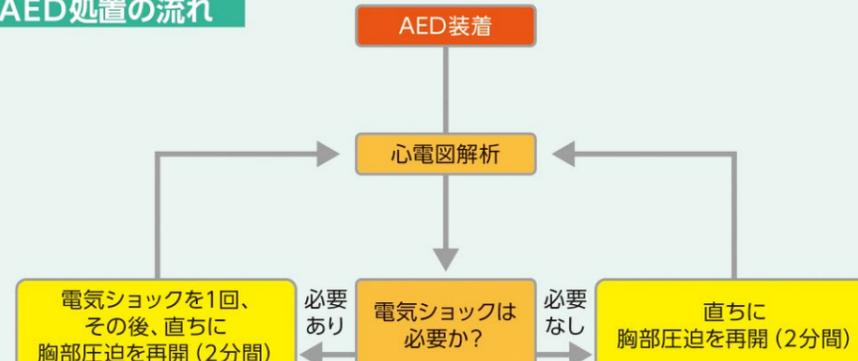
- 1 周囲の安全を確認したうえで、肩を軽くたたき、声を掛けて、返事があるか、手足が動くかなど反応を確認します。
 - 2 反応がなければ、大声で「誰か来てください!」と近くの人に協力を求め、119番通報とAEDの手配を頼みます。
 - 3 胸とお腹の動きを見て、普段通りの呼吸があるか確認し、なければ胸骨圧迫を行います。この時、傷病者がマスクをしていなければ、胸骨圧迫の前にマスクやハンカチなどで傷病者の鼻と口を覆います。胸の中央に両手を重ね、胸が約5cm沈み込む程度の強さで圧迫し、1分間に100回~120回のテンポで繰り返します(成人に限る)。
- ※訓練を積んで技術がある場合に限り、感染症予防に注意しながら、人工呼吸を実施します。



AEDが到着したら

- 1 電源を入れて、音声メッセージに従ってパッドを装着します。
- 2 解析の結果、電気ショックが必要と判断されたら、指示に従いボタンを押します(傷病者から離れること)。
- 3 指示に従い、胸骨圧迫を再開します。

AED処置の流れ



オートショックAED



救命講習を受けよう

町や小田原市消防本部では、年に数回の救命講習を行っています。実際に詳しく学びたいという方は、ぜひ、受講してください。講習の日程は、広報やまきたや小田原市消防本部ホームページをご覧ください。また、以前に救命講習を受講されたことがある方も、救命技能を忘れることなく維持向上させるために、2~3年間隔で定期的に受講されることをお勧めしています。

自主防災活動に参加しよう

地域ぐるみで防災対策を

自主防災組織は隣近所・向こう三軒両隣の「顔の見える関係」を大切に防災活動を行う集まりのことです。「自分たちのまちは自分たちで守る」ために活動しています。自主防災組織は、自治会組織を兼ねている地域が大半です。自治会に加入して地域ぐるみで災害に備えましょう。

平常時の主な自主防災活動

防災知識の普及

- 地域の防災マップの作成
- 防災講演会などのイベントの実施
- 防災施設の視察



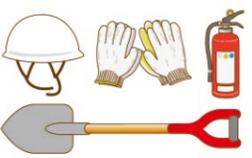
防災巡視・防災点検

- ハザードマップでの危険箇所の把握
- 燃えやすいものの放置状況の点検
- ブロック塀、石垣、看板、自動販売機など倒れやすいものの点検



防災資機材などの整備・管理

- ヘルメット、消火器、担架、ハンマー、バール、投光器、発電機などの救助用具や防災資機材の整備・管理
- 非常時の食料品、救急医療品などの備品の管理



防災訓練の実施

- 初期消火訓練 ● 救出・救護訓練
- 避難誘導訓練 ● 情報収集・伝達訓練
- 炊き出し訓練 ● 避難所運営訓練



緊急時の主な自主防災活動

安否確認

- 要配慮者を含む地域住民の安否確認

初期消火活動

- 消火器・バケツリレーなどによる初期消火活動



救出活動

- 負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動



避難所の運営

- 避難所施設の状況確認 ● 避難者誘導・受け入れ
- 避難者の居住場所と業務の割り振り
- 備蓄食料や救援物資などの避難所への運搬および配付
- 炊き出し ● 水の確保 ● トイレの清掃 ● ゴミの撤収保管
- 施設内の清掃 ● 感染症対策

救護活動

- 負傷者の応急手当、救護所への搬送



情報の収集・伝達

- 災害に関する正しい情報の収集・伝達



自主防災組織の活動に係る町の取組 令和7年3月現在

自主防災組織防災資機材等購入費用助成金制度

自主防災組織による防災資機材等の購入費に対する補助金を交付しています。詳しくは4月に実施する自治会長等研修会で説明しています。

自主防災組織リーダー等研修会

町内の各自主防災組織のリーダーを含む全ての方を対象に、防災に関する知識・技術の修得、防災意識の向上、防災行動力の強化を目的として実施しています。(毎年11月頃)

山北町消防団

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救援活動、避難誘導など非常に重要な役割を果たしています。山北町には13個の分団があり、自主防災訓練指導、巡回広報、特別警戒など地域に密着した活動を展開しており、地域における防災力の要となっています。



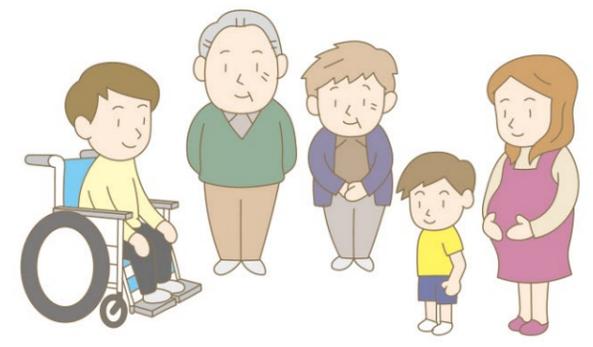
要配慮者を支援しよう

災害時に支援が必要な人をみんなで守ろう!

高齢者や障がい者などの要配慮者は、大規模災害時に被害を受けやすく、地域の人々の支援が必要です。

要配慮者とは

- 1 聞こえない、見えない → 聴覚障がい者、視覚障がい者
- 2 移動できない → 高齢者、要介護者、肢体不自由者
- 3 助けを呼べない、動けない → 重度障がい者、言語障がい者
- 4 理解・判断しにくい、混乱する、自分の状況を伝えにくい → 発達障がい者、精神障がい者、知的障がい者、外国人
- 5 生活の上で特別な配慮が必要 → 妊産婦、乳幼児、難病患者



日ごろからの信頼関係と支援体制をつくろう!

要配慮者の把握と共有

要配慮者本人の意思やプライバシーに配慮しながら、自主防災組織などでどのような支援ができるのかを話し合っておきましょう。日常生活でのあいさつや交流などで、お互いの認識を深めましょう。



支援内容・体制を決めておく

自主防災組織などで地域内の要配慮者の居住状況、生活状況などを把握し、災害時の情報の伝え方や支援方法、支援体制などを具体的に決めておきましょう。



訓練の実施とニーズの把握

いざという時、冷静に対処できるように要配慮者と訓練を行い、避難方法や避難生活でのニーズを把握しておきましょう。



要配慮者を安全に誘導するポイント

要配慮者支援の留意点

- 1 支援だからと押しつけず、要配慮者本人の立場や意思を尊重する。
- 2 要配慮者本人の希望を聞くために密なコミュニケーションをとる。
- 3 事故につながる可能性があるため、無理な支援の約束はしない。

車いすを利用している人

- 必ず誰かがつきそい、車いすを押すなどの支援を行います。
- 階段では必ず2人以上、できれば3人以上で援助します。上がるときは前向き、下がる時は後ろ向きが基本で、恐怖感を与えないよう、相手と確認しましょう。



目の不自由な人

- 必ず一歩先を歩き、肘か肩に手を置いてもらい、ゆっくりと歩きます。手や白杖(はくじょう)を引っ張るのは危険です。
- 方向を示すときは「左に曲がって10mくらい」と具体的に。「〇時の方向です」と時計の針を想定して伝える方法もあります。



高齢者・病気の人の

- 災害時の支援者をあらかじめ決めておきます。できるだけ複数人で支援しましょう。
- 「声をかけて励ます」「手を添える」「肩を貸す」など、程度に応じた支援をします。



知的・発達・精神障がいの人や外国人

- 簡単な言葉で、やさしく、ゆっくり話してください。
- 何が起きているのかを教えてあげてください。
- 見通しが立たないと不安です。例えば、急に触るのではなく、「これからケガをみるために触ります」などと予告します。
- 別室や間仕切りなどの環境で安心できることがあります。



耳の不自由な人

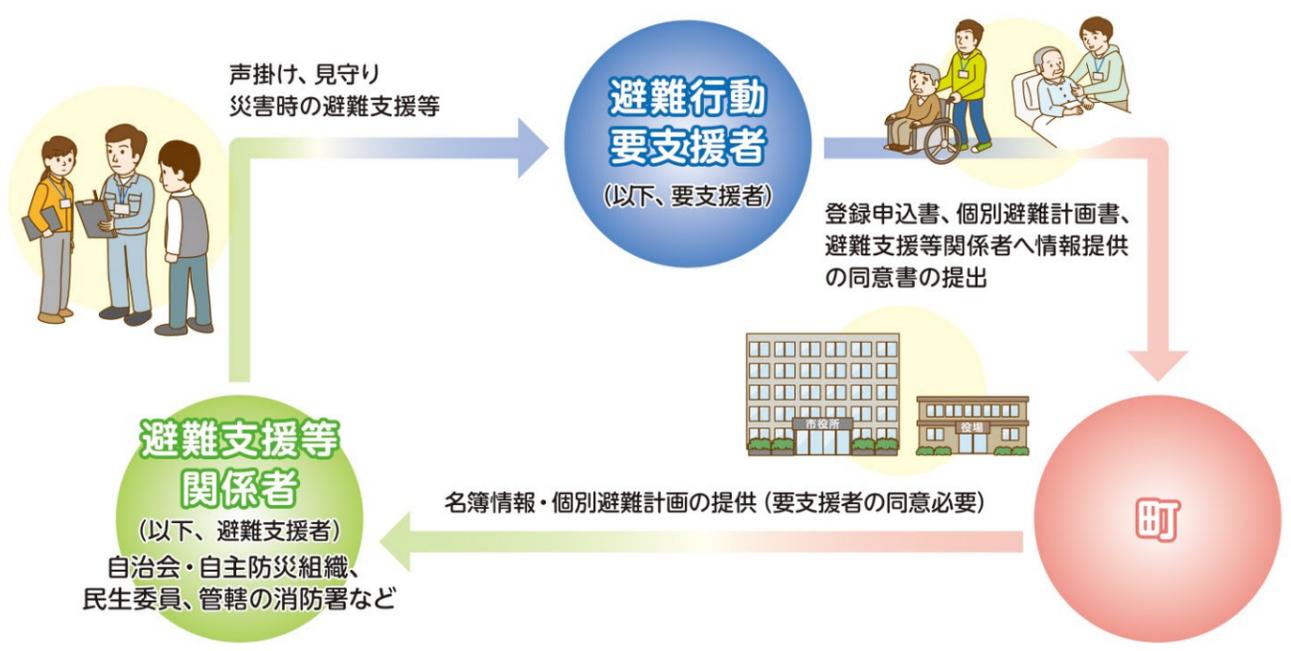
- 口をはっきりと動かし、正面から、身振りを交えて情報を伝えます。
- 手話が出来なければ、文字や絵などで伝えます。筆記具がない時は手のひらや地面などに指で字を書いたり、携帯電話やスマートフォンを利用し、文字を画面で伝える方法もあります。



避難行動要支援者支援ガイド

避難行動要支援者支援制度の仕組みとは

高齢者や障がいのある人など、災害発生時に支援を必要とする人（避難行動要支援者）に対して、自治会・自主防災組織、民生委員、近隣住民など「避難支援等関係者」が連携して支援をしていく制度のことです。この制度は、町が「避難行動要支援者名簿」を作成し、平常時から地域の避難支援等関係者に提供して、この情報をもとに地域の支え合いで避難行動要支援者を支援するものです。
 ※避難支援等関係者はできる範囲で支援をするもので、災害時の避難支援において義務や責任を伴うものではありません。



避難行動要支援者とは

災害時に自分で安全な場所へ避難することが難しい人たちのことです。町では、在宅で次のいずれかに該当する人を対象範囲とし、とくに避難に支援を要する方を「避難行動要支援者」とし、この制度の支援を希望する方であって、当該支援を受けるために必要な個人情報を提供することに同意した方を名簿に登録しています。

障がいのある人	身体障害者手帳1級～2級の方（内部障害を除く） 療育手帳Aの方 精神障害者保健福祉手帳1級の方
要介護の人	要介護認定3～5までに該当する方
高齢者	高齢者のみの世帯の方（75歳以上）
その他	難病など、災害時に自力で避難または災害情報を入手することが困難な方



避難行動要支援者名簿とは

町では、要支援者の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成・管理するほか、避難支援者への名簿情報の提供などを行っています。また、名簿情報の提供を受けた避難支援者は、日ごろからの要支援者の見守り活動、災害時には安否確認や避難支援などに活用します。

個別避難計画とは

地震や風水害などの自然災害が発生したとき、地域の住民が協力し、要支援者の避難誘導や安否確認等の支援活動が円滑にできるようにするための計画を「個別避難計画」といいます。個別避難計画の記載事項は次の3点となります。

- 1 避難行動要支援者に関する情報（氏名、生年月日、性別、連絡先、避難支援等を必要とする理由）
- 2 支援者に関する情報
- 3 避難先や避難経路に関する情報。個別支援計画を作成する際は、ご本人以外にも家族、日常地域で関わりのある方などで災害者の対応等を話し合い作成することで、より実効性の高い計画になります。

● 万が一被災してしまったときに ●

罹災証明の手続きを知っておきましょう

罹災証明書 交付手続きの流れ

申請 → 調査（市町村） → 交付（市町村）

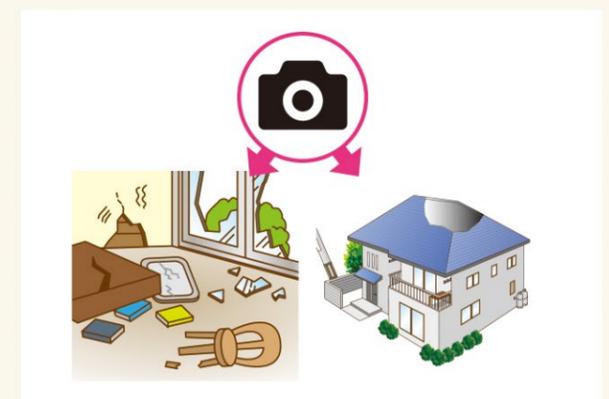
被害の程度	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に達しない一部損壊
損害割合	50%以上	40%以上 50%未満	30%以上 40%未満	20%以上 30%未満	10%以上 20%未満	10%未満

罹災証明書

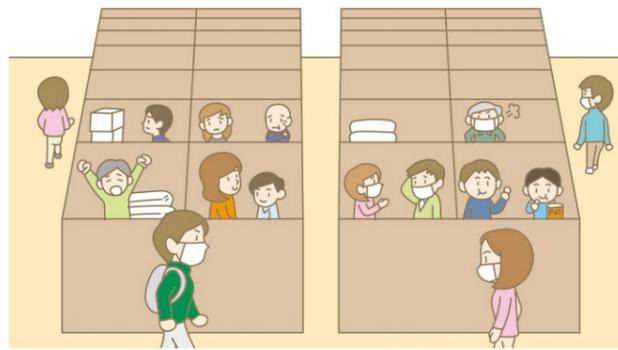
「罹災証明書」は、災害による住家被害の程度を証明する書類です。復旧支援等を受けるために必要となります。

被害状況がわかる写真をとりましょう

被害の様子がわかる写真をいくつかの角度から撮りましょう。罹災証明書の申請等で必要となります。



お問合せ 町民税務課税務班 TEL:0465-75-3641



避難所での生活は、慣れない環境でストレスや疲労から体調を崩してしまうこともあり、健康管理には十分な注意が必要です。また、避難所では被災者同士が共同生活を送ることになりますので、マナーとルールを守り、みんなで支え合しましょう。



健康管理

感染症の予防

新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症、食中毒を予防するため、マスクの着用やこまめな手洗いをしましょう。



また、定期的に体温を測りましょう。

体調の変化を感じたときは、避難所運営スタッフに申し出てください(体温計、マスク、消毒液は持参しましょう)。

熱中症の予防

夏場の避難所では熱中症に注意しましょう。特に高齢者や子どもは要注意です。のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分の補給を行うことが大切です。



エコノミークラス症候群の予防

食事や水分を十分にとらない状態で、狭い空間に長時間座り足を動かさないと、血行不良が起こり、血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)が肺動脈に詰まって、肺塞栓などを誘発するおそれがあります。この現象をエコノミークラス症候群と呼びます。

災害時にはトイレを敬遠した結果、エコノミークラス症候群の発症にいたるケースが多発しています。携帯トイレ・水分等の持参、定期的な運動を心がけましょう。

一酸化炭素中毒の予防

被災地での停電時、発電機、石油ストーブ、カセットコンロなどを使用する場合には、一酸化炭素中毒に注意する必要があります。一酸化炭素は無色・無臭で気付きにくく、微量でも死に至ることがありとても危険です。

- 発電機は、必ず屋外で使用しましょう。
- 石油ストーブなどを使用する場合、定期的に窓を開けて換気をしましょう。
- 車中泊の場合は、他の車の排気ガスなどを取り込まないように他の車とは距離をとって駐車しましょう。
- エアコンは外気を入れながら動かし、こまめに窓を開けて換気をしましょう。



- 駐車は許可された場所でお願ひします。
- エンジン音は騒音となることもあります。ご注意ください。

車中泊避難所

町は、山北町パークゴルフ場の駐車場を「車中泊避難所」として大雨・台風接近時や災害時に開放します。「避難時でもパーソナルエリアを確保したい」、「ペットと一緒に避難したい」などの方は、自家用車に避難用品を自身で準備いただき、山北町パークゴルフ場駐車場への避難をご検討ください。

- ※トイレや水道はパークゴルフ場の設備を使用できます。
- ※毛布や食料などの避難用品は、ご自身で準備願ひます。



災害時はまず、ご自身や家族の安全を確保してください。ペットを守るのは飼い主です。飼い主が無事であればペットの安全を守ることはできません。災害はいつ発生するかわかりません。いざというとき、家族とペットが安全に避難するために、日ごろから準備をしましょう。



ペットの同行避難とは

同行避難とは、災害発生時や発生のおそれがある場合に、飼い主がペットを同行し、避難所まで安全に避難することです。現在、山北町では、飼い主とペットが避難所の同一空間で居住できるわけではありません。ペットと同行避難をする際は、必ずケージやペットフードなどを持参しましょう。

また、一般的なペット以外の動物は、避難所での受入れが難しい場合もあります。同行避難ができないことを考え、預かり先を確保しておきましょう。



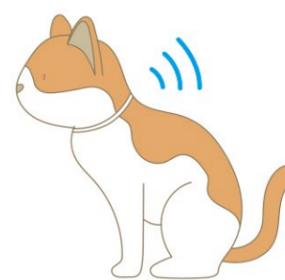
日ごろの備え

家族とペットが安全に避難し、避難所でペットが他の避難者の方に受け入れていただくための準備をしておきましょう。

身元表示

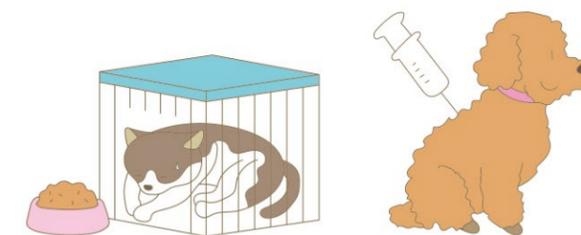
突然の災害に驚いてペットが逃げてしまい、飼い主と離れ離れになってしまう可能性があります。

はぐれてしまったペットが飼い主の元に戻れるよう、**身元表示(迷子札、マイクロチップ等)**をしましょう。



健康管理

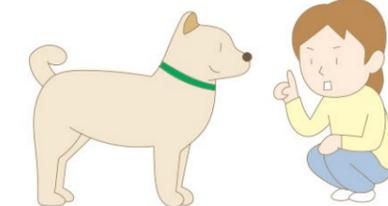
避難所では多くの動物が集まること予想され、自分のペットが他の動物と一緒に過ごすことになるかもしれません。慣れない環境で過ごすストレスから、体調を崩すこともあります。感染症の蔓延を防ぎ、ペットの健康を守るためにも**日ごろからの健康管理が重要**です。体を清潔に保ち、狂犬病予防注射(犬)や混合ワクチンのほか、ノミなどの外部寄生虫の駆除を行いましょう。



しつけ

安全・迅速に避難し、避難所で周囲に迷惑がかからないように、むやみに吠えない、キャリーバッグやケージに慣らしておく、他人に友好的に接することができる、などのしつけを普段からしておきましょう。

動物のストレス軽減にもつながります。



集団生活のしつけが大切

防災用品の備蓄

ペットの飼育に必要なものは、飼い主が用意します。ペットフード、水(3日以上)、ケージ、首輪、リード、トイレ用品などの備蓄を行い、すぐに持ち出せるよう、飼い主の避難用品と一緒に保管しておきましょう。



いつも備えておくもの

備蓄品

大規模な災害が発生すると、道路が寸断されたり、電気・水道などが停止する場合があります。自宅建物が安全であれば、避難所で見ず知らずの人と生活するよりも、住み慣れた自宅での生活を継続するほうが安心です。
また、災害発生当初の72時間は、人命救助活動に全力を尽くすため、避難所の対応が十分でない場合があります。予想される災害場面に備えて、日頃から食料品・生活用品などを備蓄することがポイントです。



最低
3日分
できれば**7日分**

水・食料品は最低3日分、できれば7日分を用意しておきましょう。水は1日1人3リットルが目安です。

● 家に置いておくもの

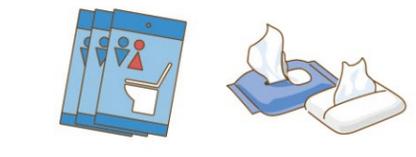
非常食・水

食料品は消化が良いもの、栄養価が高いもの、あまり水を飲まなくて良いもの、そのまま食べられるものを用意しましょう。
※乳幼児、高齢者、アレルギーがある場合は、対応するものを用意しましょう。



トイレ・衛生用品

トイレをがまんするために食事や水分を取らない方が増えます。そのため、病気にかかったり、体力・免疫力の低下につながります。がまんしなくてもすむように、簡易トイレ、ティッシュ、ウェットティッシュ、ゴミ袋を用意しましょう。



照明器具・コンロ

用意する優先順位はヘッドライト→ランタン→懐中電灯です。両手が空くヘッドライトは重宝します。予備電池、モバイルバッテリーなども用意しましょう。食材を調理するためのカセットコンロ・ボンベは必需品です。



情報ツール

最新の避難情報や災害情報を収集できるようスマートフォン、モバイル機器、ラジオ、イヤホンなどを用意しておきましょう。



時短にも非常時にも! パッククッキング

パッククッキングとは、耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法です。普段の食品が使える、加熱に使った水が汚れないので再利用できる、袋に入れたまま食器によそえば食器が汚れない、などのメリットがあります。
さまざまなレシピがインターネット上で公開されていますので、お気に入りのレシピを探しましょう。
※耐熱性のポリ袋をご使用ください。



農林水産省 HP
<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/imadoki/imadoki01.html>

日常備蓄(ローリングストック法)とは?

普段使っている食料品などを、少し多めに備えておく取り組みです。古いものから使って、使った分を買い足すことで、常備することができます。災害時には慣れた物を食べることができ、安心につながります。



避難所へ避難

自宅が被災した場合は、避難所で生活することになります。支援物資が届くまでには時間がかかります。常備薬や使いなれた日用品などをすぐに持ち出せるよう、非常用持出品としてまとめておきましょう。

● 避難するときに持ち出すもの

現金	通帳・印鑑・マイナンバーカード	マスク・消毒液	常備薬・お薬手帳	携帯ラジオ	非常食・水(持てる分だけ)
タオル・雨具	体拭きウェットタオル	歯ブラシ	スマートフォン	モバイルバッテリー	下着・着替え

● 女性に用意しておいてほしいもの

生理用品(普通・長時間向け用)	おりものシート	サニタリーショーツ	防犯ブザー・ホイッスル	中身が見えないゴミ袋	くし・ヘアゴム
-----------------	---------	-----------	-------------	------------	---------

● 赤ちゃんがいる家庭に必要なもの

おむつ	おしりふき	哺乳瓶	水筒	粉ミルク・液体ミルク	離乳食
母子手帳	おもちゃ・絵本	抱っこひも	おやつ	爪切り	子ども用の靴

● 高齢者がいる家庭に必要なもの

大人用おむつ・失禁パッド	携帯用つえ	入れ歯用製品	補聴器	老眼鏡	おかゆなど食べやすい非常食
--------------	-------	--------	-----	-----	---------------

要配慮者施設・医療機関・防災関係 機関

市外局番：0465

町指定避難場所一覧 (グラウンド・園庭)			
No.	名称	所在地	電話番号
1	スポーツ広場	山北 3138	
2	山北町健康福祉センター	山北 1971-2	75-0822
3	鉄道公園	山北 1971-2	
4	山北町役場	山北 1301-4	75-1122
5	川村小学校	山北 1002	75-1142
6	ぐみの木近隣公園	岸 4031-イ	
7	山北中学校	向原 405	75-0755
8	県立山北高等学校	向原 2370	75-0828
9	共和のもりセンター	皆瀬川 275	20-3759
10	旧清水小学校	川西 685	
11	ひだまりの里	神縄 438	
12	旧三保中学校	中川 921-87	
13	生涯スポーツセンター	山北 2594-1	
14	やまきたこども園わかば園舎	山北 1943	75-1144
15	やまきたこども園やまっこ園舎	山北 1266	75-1530
16	山北児童館	山北 121	
17	岸幼稚園	岸 1995	75-1145
18	高齢者いきいきセンター	岸 2061	
19	旧川村小学校高松分校	向原 6892	
20	向原保育園	向原 1630	75-1146
21	向原児童館	向原 311	
22	旧清水中学校	川西 688	
23	旧三保小学校	中川 921-86	
24	山北町役場三保支所	中川 921-82	78-3006
25	ハイツ&ヴィラなかかわ跡地	中川 361-2	
26	玄倉公民館	玄倉 305	78-3464

避難所一覧 (建物)			
No.	名称	所在地	電話番号
1	川村小学校	山北 1002	75-1142
2	生涯学習センター	山北 1301-4	75-3131
3	山北中学校	向原 405	75-0755
4	県立山北高等学校	向原 2370	75-0828
5	共和のもりセンター 共和トレーニングセンター	皆瀬川 275	20-3759
6	旧清水中学校	川西 688	
7	旧三保中学校	中川 921-87	

※避難する際には、各自治会で定められた一時避難場所へ避難する場合があります。

要配慮者利用施設			
No.	名称	所在地	電話番号
1	KOMNY やまなみ工芸	山北 1430	75-1449
2	やまきたこども園	山北 1266	75-1530
3	グループホームアミーゴ	山北 1861-1	20-3340
4	グループホームやまきた	山北 785	79-1088
5	バーデンライフ山北	山北 202	79-1112
6	岸幼稚園	岸 1995	75-1145
7	あずみ苑 山北	岸 133	79-1165
8	向原保育園	向原 1630	75-1146
9	リッチライトやまきた	向原 1640-2	43-9888
10	バーデンライフ中川	中川 511	78-3838

防災関係機関			
No.	名称	所在地	電話番号 (FAX)
1	山北町役場	山北 1301-4	75-1122 (75-3660)
2	山北町健康福祉センター	山北 1971-2	75-0822 (76-4592)
3	小田原市消防本部足柄消防署 山北出張所	山北 2056-1	75-2121
4	平山駐在所	平山 342-1	75-2444
5	岸駐在所	岸 1990-1	75-1830
6	向原駐在所	向原 2074-3	75-2442
7	山北町社会福祉協議会	向原 1379-1	75-1294 (76-4079)
8	山北町役場清水支所	川西 688	77-2404 (77-2121)
9	山北町役場三保支所	中川 921-82	78-3006 (78-3160)

医療機関			
No.	名称	所在地	電話番号
1	山北中央診療所	山北 192	75-0056
2	ねもと総合内科クリニック	山北 711-32	75-0095
3	飛弾クリニック	向原 150	75-1717
4	山北町立山北診療所	谷ヶ 1018-20	77-2281

車中泊避難所			
No.	名称	所在地	電話番号
1	山北町パークゴルフ場駐車場	山北 3313	

※車中泊避難とは、災害時に避難所ではなく車を避難先として選択すること。

AED設置場所

町の施設				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
1	♥AED	山北町役場	山北 1301-4	75-1122
2	♥AED	生涯学習センター	山北 1301-4	75-3131
3	♥AED	山北町役場清水支所	川西 6 8 8	77-2404
4	♥AED	山北町役場三保支所	中川 921-82	78-3006
5	♥AED	山北町健康福祉センター	山北 1971-2	75-0822
6	♥AED	さくらの湯	山北 1971-2	75-0819
7	♥AED	ふるさと交流センター	山北 1840-15	75-2717
8	♥AED	中川温泉ぶなの湯	中川 645-8	78-3090
9	♥AED	ひだまりの里	神縄 4 3 8	77-2777
10	♥AED	共和のもりセンター	皆瀬川 275	20-3759
11	♥AED	パークゴルフ場	山北 3313-4	75-3789

認定こども園・幼稚園・保育園				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
12	♥AED	やまきたこども園やまっこ園舎	山北 1266	75-1530
13	♥AED	やまきたこども園わかば園舎	山北 1943-3	75-1144
14	♥AED	岸幼稚園	岸 1995	75-1145
15	♥AED	向原保育園	向原 1630	75-1146

小・中・高等学校				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
16	♥AED	川村小学校	山北 1002	75-1142
17	♥AED	山北中学校	向原 401-1	75-0755
18	♥AED	県立山北高等学校	向原 2370	75-0828
19	♥AED	私立鹿島山北高等学校	中川 921-87	78-3900
20	♥AED	やまきた児童クラブ	山北 1002	79-2113

その他の町関連施設				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
21	♥AED	山北町社会福祉協議会	向原 1379	75-1294
22	♥AED	地域包括支援センター	向原 1379	75-1941
23	♥AED	KOMNY やまなみ工芸	山北 1430	75-1449
24	♥AED	足柄西部環境センター	山北 3680	76-4655
25	♥AED	町観光協会	山北 1840-15	75-2717

金融機関等				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
26	♥AED	横浜銀行 山北支店	山北 1890	75-1321
27	♥AED	さがみ信用金庫 山北支店	山北 1850	76-3441
28	♥AED	かながわ西湘農協 山北支店	山北 211	75-0004
29	♥AED	かながわ西湘農協 清水支店	川西 689	77-2010

県等の施設				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
30	♥AED	酒匂川水系ダム管理事務所 (三保ダム)	神尾田 734	78-3711
31	♥AED	県立西丹沢ビジターセンター (旧西丹沢自然教室)	中川 867	78-3940
32	♥AED	道の駅「山北」	湯蝕 317	77-2882
33	♥AED	県立山北つづらの公園	都夫良野 675-5	75-0570

警察・消防				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
34	♥AED	松田警察署	松田町松田麻子 477-1	82-0110
35	♥AED	岸駐在所	岸 1990-1	※松田警察署 へご連絡くだ さい。
36	♥AED	向原駐在所	向原 2074-3	
37	♥AED	平山駐在所	平山 342-1	
38	♥AED	清水駐在所	川西 652-32	
39	♥AED	三保駐在所	神尾田 759-4	
40	♥AED	小田原市消防本部 山北出張所	山北 2056-1	75-2121

その他のAED設置施設				
No.	AED	名称	所在地	電話番号
41	♥AED	すずらん・アミーゴ	山北 1861	20-3340
42	♥AED	バーデンライフ中川	中川 511	78-3838

